

第4回 感染免疫応答セミナー

“Cytosolic DNA sensors, STING and Innate immunity”

Prof. Glen N Barber

University of Miami, School of Medicine, Miami, FL USA

日時：平成25年12月6日（金） 17時～18時

場所：医学部本館1階 第1講義室

<概要>

Glen Barber 博士は、病原体感染に応答した自然免疫誘導機構に関する研究で著明な業績をあげておられます。2008年には、世界に先駆けてシグナル分子 STING (Stimulator of interferon genes) を発見され、その細胞質 DNA に応答した自然免疫誘導における必須な役割を明らかにされました (*Nature*, 455, 674, 2008; *Nature*, 461, 788, 2009)。

さらに最近、STING が細胞内 DNA の検知に直接関与することや、新規のセカンドメッセンジャーとして注目される cyclic GMP-AMP の合成酵素 (cGAS) とオートファジー機構を介した STING シグナルの制御、さらに自己免疫疾患への関与などについて興味深い報告を続けておられます (*PNAS*, 109, 19386, 2012; *Mol. Cell*, 50, 5, 2013; *Cell*, 155, 688, 2013)。2011年に本セミナーでお話し頂きましたが、今回はそれに続く最新の知見についてお話しして頂けることと思います。

多くの方々のご参加と、ご討論をお願いいたします！

連絡先：真菌医学研究センター・感染免疫分野 西城 忍

(内線：5934、E-mail: saiyo@faculty.chiba-u.jp)